

事業報告書

平成 31 年度



社会福祉法人聖啓会

特別養護老人ホーム菜の花

ショートステイ菜の花

デイサービス菜の花

居宅介護支援事業所菜の花

目次

法人活動報告.....	3
特別養護老人ホーム菜の花 事業報告.....	4
支援業務.....	7
機能訓練.....	9
栄養業務.....	10
介護業務.....	12
平成31年度実施年間行事.....	16
全体行事.....	18
ボランティア.....	19
実習生受け入れ.....	20
ショートステイ菜の花 事業報告.....	23
デイサービス菜の花 事業報告.....	24
居宅介護支援事業所菜の花 事業報告.....	27
医務計画（健康サポートセンター報告）.....	28
消防・防災 事業報告.....	29
寄付・寄贈 報告.....	30
平成31年度 苦情対応報告.....	31
平成31年度 苦情・対応 一覧.....	33
内部研修報告 一覧.....	34
外部研修報告 一覧.....	38
事業報告の附属明細書.....	41

法人役員

理事

氏名	住所
(理事長)星野 正明	静岡県藤枝市
星野 美奈子	静岡県藤枝市
金原 俊輔	静岡県浜松市
川口 節子	静岡県静岡市
神尾 芳典	静岡県藤枝市
亀甲 良明	静岡県牧之原市

任期 平成 30 年度決算に関する定時評議委員会の終結の時から
令和 2 年度決算に関する定時評議委員会の終結の時まで

監事

氏名	住所
杉山 重人	静岡県菊川市
松村 奈緒子	静岡県藤枝市

任期 平成 30 年度決算に関する定時評議委員会の終結の時から
令和 2 年度決算に関する定時評議委員会の終結の時まで

評議員

氏名	住所
石田 治子	静岡県藤枝市
岩崎 丈夫	静岡県藤枝市
加納 裕子	静岡県島田市
佐藤 芳憲	静岡県静岡市
西沢 良孝	静岡県藤枝市
八木 あさよ	静岡県藤枝市

任期 平成 29 年 4 月 1 日から
平成 32 年（令和 2 年）度決算に関する定時評議委員会の終結の時まで

氏名	住所
牧野 小百合	静岡県藤枝市

任期 平成 31 年度 評議員選任解任委員会開催の日から
平成 32 年（令和 2 年）度決算に関する定時評議委員会の終結の時まで

法人活動報告

平成 31 年 4 月 2 日 評議員選任解任委員会

種別	No.	議題
報告事項	第 1 号	評議員 杉山芳白様 ご逝去について
議案	第 2 号	評議員選任

令和 2 年度 第一回理事会（令和 1 年 5 月 30 日開催）

種別	No.	議題
報告事項	第 1 号	理事長専決事項・評議員選任結果・これまでの経緯
議案	第 1 号	平成 30 年度 監事監査報告・事業報告・決算
議案	第 2 号	社会福祉充実計画
議案	第 3 号	定款変更
議案	第 4 号	次期聖啓会理事 推薦案
議案	第 5 号	次期聖啓会監事 推薦案
議案	第 6 号	評議員会招集
議案	第 7 号	就業規則変更

令和 2 年度 第一回評議員会（令和 1 年 6 月 20 日開催）

種別	No.	議題
報告事項	第 1 号	評議員 杉山芳白様 ご逝去について
報告事項	第 2 号	評議員選任結果報告
議案	第 1 号	事業報告・計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録
報告事項	第 3 号	社会福祉充実計画
議案	第 2 号	定款変更
議案	第 3 号	次期役員(理事)選任
議案	第 4 号	次期役員(監事)選任

令和 2 年度 第二回理事会（令和 1 年 6 月 20 日開催）

種別	No.	議題
報告事項	第 2 号	理事長の職務の執行状況
報告事項	第 3 号	理事選任結果・監事選任結果について
議案	第 8 号	理事長互選
議案	第 9 号	給食業者契約について
議案	第 10 号	第一次補正予算
議案	第 11 号	評議員選任解任委員選出

令和 2 年度 第三回理事会（書面による）

種別	No.	議題
報告事項	第 4 号	理事長の職務の執行状況
議案	第 12 号	第二次補正予算
議案	第 13 号	来年度事業計画
議案	第 14 号	来年度予算

特別養護老人ホーム菜の花 事業報告

1 施設運営の方針

<ご利用者対応指針>に関する報告

- ① 身体拘束…………… 委員会の開催は少なかったが、身体拘束廃止の必要性は職員全体に浸透している。現在はスピーチロックの廃止に向けて注意喚起をしている。
- ② 生活環境…………… 年々各ユニットの葉植物が増えてアットホームな環境になってきた。南側のベランダのお花も随時植え替えの各居室からも眺められる事を継続し、常に綺麗な環境を提供できるようにした。
- ③ 排泄援助の個別化 …… 排泄委員会でおむつの材質や形状を討議した。下剤は極力使用しないよう個別に食物繊維（サンファイバー）を使用した。水分や納豆、ヤクルト、ヨーグルトの摂取を、支援した。
- ④ 食形態…………… 管理栄養士が主体となり担当者会議と摂食委員会の場で検討している。給食会議では委託業者と打ち合わせを実施。
- ⑤ 入浴時間…………… 殆どの方が日中でも満足されて居られる様子。
- ⑥ 認知症…………… 各倶楽部活動やフリーダムを使用し進行予防のレクを実施した。研修会開催。健康倶楽部の活躍と機能訓練士の屋外散歩が効を奏した。
- ⑦ 健康管理…………… 嘱託医は毎週2回の回診と看護師による健康サポート部が毎日の健康管理・健康診断・緊急時に対応。今期も感染症（インフルエンザ）は0名であった。コロナ感染症の予防に努めた。

<職員処遇指針>に関する報告

- ① 人財 17名が退職。3月現在93名（パート含）で運営。
- ② ワークライフ…………… 職員一人一人のライフスタイルの中で勤務。シフトは94に分けている。
- ③ 福利厚生…………… 忘年会、秋祭り、など各行事の際等、職員間の交流を図っている。志太会に加入し親睦会に出席し他施設との交流を図っている。ユニホームの支給も定期的に行っている。
- ④ 外部、内部研修…………… 別紙研修一覧表参照。

<地域や関係機関との連携>に関する報告

- ① 協力病院との連携 …… 緊急搬送は別紙参照。相談員、ケアマネとの相互の連携を図った。
- ② 地域の行事の参加 …… 4月 河川の清掃(町内行事)
10月 白髭神社祭り
11月 烏帽子山祭り
1月 内瀬戸町内会 組長会
- ③ 地域町内会に加入 …… 4月に継続手続きをした
- ④ 地域防災拠点…………… 藤枝市特別養護老人ホームの施設長会で福祉避難所協定を結ぶ。
- ⑤ 地域交流室…………… 解放している。入居者の方と地域、ご家族との食事会など。地域の方の見学の際にお茶のおもてなしをしている。作品展の開催時近隣の方々、ご家族に解放。
- ⑥ ボランティア…………… 受け入れ状況は別紙参照
- ⑦ 関連施設の勉強会 …… 藤枝市立総合病院主催の勉強会に参加

- ⑧ 施設主催…………… イベントを地域に発信。
- ⑨ 「菜の花だより」…… 毎月発行。ご家族、関連施設に発送。
- ⑩ ホームページ…………… 毎月更新。
- ⑪ 地域の学校…………… 青島小学校6年生体験学習計1日33名受入
藤枝市立藤枝中学校2年生の福祉体験58名を受入
藤枝市北青島中学校1年生3名研修受入
県立中央特別支援学校実1名習受入
静岡大学教育学部介護体験実習1名5日間受入
県警察学校介護研修12名受入
駿遠学園実習1名5日間受入
介護初任者研修9名受入
- ⑫ 自然との触れ合い…… 外出レクは別紙参照
- ⑬ 地域の名産…………… 名物を取り入れた献立は栄養事業報告参照。
- ⑭ 地域のレストラン…… レストランやお寿司屋など外食レクは今年は実施できなかった。舌鼓倶楽部で生チョコを食べる会を開催

2 平成31年度の評価及び来期の課題

開設8年目で計画通りの内容で運営できた。

定着率を上げる為賃金の見直しを行ないつた。9年目となりユニットのリーダーが育ってきた。職員が安心して働けるように介護士長制度を作り相談できる体制とした。その体制を活用し、職員のコミュニケーションが取れる施設の職風土の生かして遣り甲斐のある職場にしていきたい。

<9年目に向けて>

- ① 介護のスキルUPを図る。
 - ・ユニットリーダーの育成→引き続き研修を行ないマネジメントスキルアップを図る。目標管理の徹底。自己評価により達成感を感じる。
 - ・内部研修を充実させる→毎日12時30分～13時まで。講師は職員
 - ・ユニットケアの実践→企画運営をユニット単位で任せる。(ユニット費の設定)
 - ・受け持ち制を実践→介護職員と入居者との信頼関係を深める。
 - ・口腔ケアの充実→口腔ケア研修計画。歯科衛生士の雇用。
- ② 職員の満足度を上げる。
 - ・福利厚生を充実→職員間のコミュニケーションを良好にする
 - ・遣り甲斐感→処遇改善。目標管理(自分の目指す事を明確にする)
 - ・心の健康づくり→介護士長を中心に(面接、相談窓口を作る)
 - ・介護全体会議の場で介護感の統一を図る
 - ・31年1月1日より職員のお誕生日面接を開始した。職員の要望、展望など聞き可能な限り意に添える様にしていく。
- ③ 世代間交流を図る→昨年と同様に青島小学校との交流を継続する。
- ④ 研修生の受け入れ→社会福祉士、警察学校、介護福祉士、各種学校
- ⑤ 入居者の生きがい、楽しみが充実できるプランを立てる。教養娯楽費の有効活用を図る
 - ・倶楽部活動の充実を図る。
園芸倶楽部の活性化を図る(施設の前の畑の一部を借り野菜作りを継続する)
 - ・外出の機会を多く持つ。
 - ・ボランティアの協力を得る。
 - ・昨年同様「美味しい」、「楽しい」、「嬉しい」、時を企画運営。

相談業務

介護が必要となった高齢者で、日常生活が困難になった場合など、介護者等からの入所申込を受け、優先入所指針に基づいて、入所の必要性の高い方から入所の受け入れができるよう努めました。

在宅で介護をしているご家族が、様々な理由により介護が困難になった場合や、一人暮らしの場合の方から、優先入所検討委員会を設けて随時入所手続きをして参りました。

支援報告

入所されたご利用者様が長期に生活できる施設として安心快適にお過ごしいただけるよう、できるだけの支援をしました。必要に応じて受診手続きの支援を行いました。

また、ご利用者様やご家族からの相談を受け、ご利用者様の心身の状況等についてご家族様との報告・連携を密に取らせていただきました。

相談報告

1. 常にご利用者様の心身の状況・その置かれている環境等の明確な把握に努め、ご利用者様またはご家族様に対し、相談に適切に応じると共に必要な助言とそのほかの援助に努めました。
2. ご家族様との「連携」を充実させ、必要な助言・援助を行うことに努めました。
3. 優先入所制度の円滑な運用に努力しました。

延利用者数

摘要	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
うち男性	268	310	325	337	340	325	362	359	361	382	358	403	4130
うち女性	1748	1799	1742	1808	1825	1752	1787	1685	1724	1744	1624	1766	21004
延利用数	2016	2109	2067	2145	2165	2077	2149	2044	2085	2126	1982	2169	25134

平均介護度

うち男性	3.69	3.697	3.631	3.662	3.729	4.068	3.978	3.911	3.834	4.055	3.997	3.846	3.841
うち女性	3.969	3.973	3.951	3.964	3.997	3.998	4.015	4.009	3.996	3.99	4.018	4.079	3.996
平均介護度	3.932	3.933	3.9	3.917	3.955	4.009	4.008	3.992	3.968	4.002	4.014	4.036	3.972

稼働率

稼働率(%)	96.0%	97.2%	98.4%	98.8%	99.8%	98.9%	99.0%	97.3%	96.1%	98.0%	97.6%	99.9%	98%
--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----

要介護度別入居者数

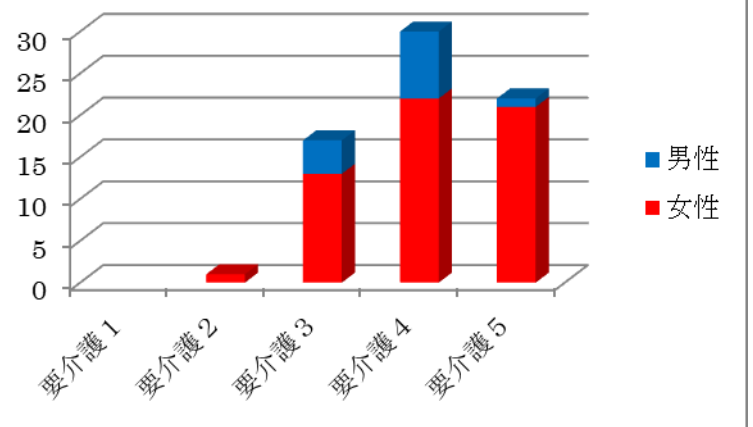
要介護度別入居者数 (H32. 3. 31 現在)

	女	男	介護度
要介護 1			
要介護 2	1		1
要介護 3	13	4	17
要介護 4	22	8	30
要介護 5	21	1	22
総計	57	13	70

保険者別入居者数 (H31. 3. 31 現在)

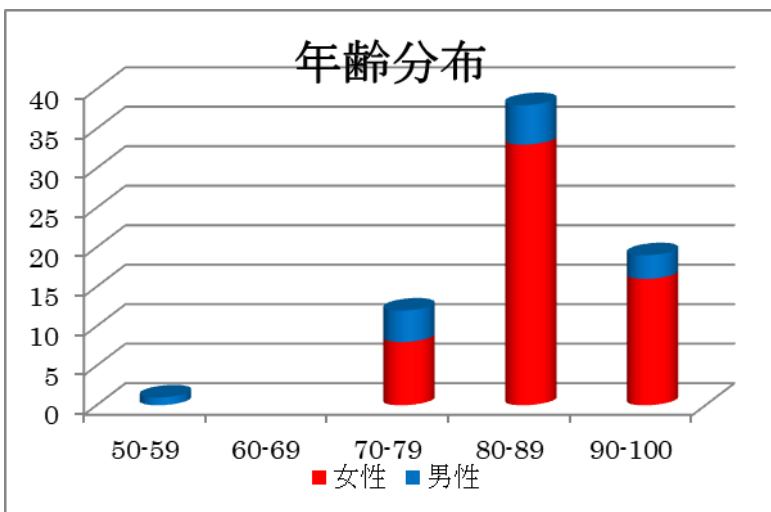
保険者名称	女	男	総計
藤枝市	49	10	59
焼津市	6	2	8
島田市	1		1
浜松市	1		1
川根本町		1	1
総計	57	13	70

要介護度別入居者人数



年齢分布 (H31. 3. 31)

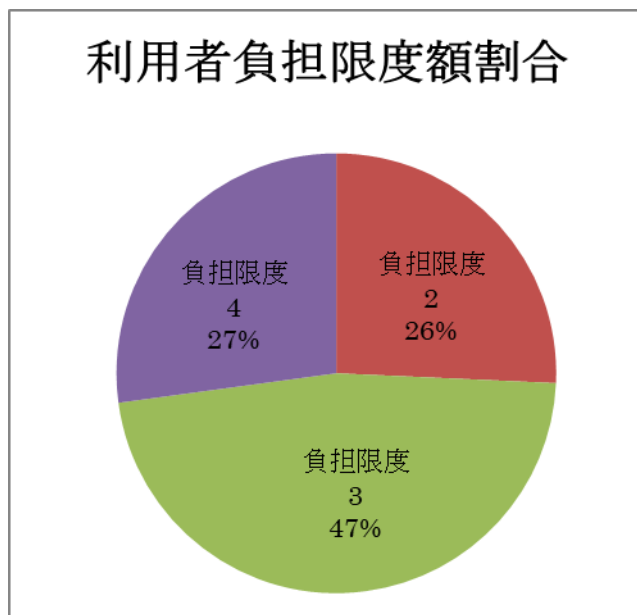
年齢	女	男	総計
50-59		1	1
60-69			
70-79	8	4	12
80-89	33	5	38
90-100	16	3	19
総計	57	13	70



負担段階	人数	割合
負担限度 1	0	0
負担限度 2	18	25%
負担限度 3	33	48%
負担限度 4	19	27%

優先入所検討委員会 開催状況

開催回	開催日	決定人数
第 81 回	H31. 4. 9	2
第 82 回	H31. 4. 25	2
第 83 回	R1. 5. 7	3
第 84 回	R1. 5. 14	1
第 85 回	R1. 5. 23	2
第 86 回	R1. 7. 2	1
第 87 回	R1. 7. 18	1
第 88 回	R1. 7. 30	2
第 89 回	R1. 8. 6	3
第 90 回	R1. 8. 20	2
第 91 回	R1. 9. 3	3
第 92 回	R1. 9. 10	1
第 93 回	R1. 10. 1	2
第 94 回	R1. 10. 24	4
第 95 回	R1. 11. 19	4
第 96 回	R1. 12. 24	5
第 97 回	R2. 1. 7	2
第 98 回	R2. 1. 28	4
第 99 回	R2. 3. 17	4



利用者負担軽減状況

社会福祉法人等利用者負担軽減

負担段階	人数	割合
社福減免	6	8.5%

新規入所者数 31 名

退所者・内訳

総退所者数	看取り	転院	自宅	病死
30	18	8	0	4

支援業務

- ・支援計画（ケアプラン）の作成を行いました。その人らしさを重視した個別性のある計画を心掛けました。
- ・更新時と概ね6ヶ月ごとのアセスメントを実施してその都度フェイスシートの見直しを行いました。変更ある場合は随時行いました。
- ・6ヶ月ごとのモニタリングを行いモニタリングシートに記入をしました。
- ・状態に変化がある場合は、できるだけ担当者会議を開催し、家族や多職種の専門的な見地からの意見を伺い支援計画の見直しを行いました。
- ・区分変更時は家族や多職種から意見を伺い担当者会議を開きプランの変更を行いました。
- ・退院カンファレンスを行い変更のある場合や予後の状態や留意点などを共通理解し今後の支援の見直しを行いました。
- ・看取りの担当者会議を行い利用者様が残り少ない日々を安楽に過ごせるように他職種やご家族様と連携し調整や依頼などを行いました。
- ・多職種やご家族様との担当者会議の調整を行いました。担当者会議を開催してご家族にプランの説明をして 同意して署名をしていただき交付しました。
- ・入院 退院 受診同行を相談員や看護師とともに交代で行いました。

担当者会議開催回数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	9	7	6	7	9	4	4	4	1	3	1	2	57

また、介護保の更新時の書類の提出をして認定がスムーズに行なわれるように、認定調査の立ち合いをしました。

介護保険認定調査立ち合い回数 49回

機能訓練

利用者様・ご家族様の意向を尊重しながら、身体機能の維持・向上を目指し、下記の事業を実施した。

- ・他職種と共同して個別機能訓練計画書の作成を行なった。
- ・個別訓練（歩行訓練、立ち上がり訓練、立位保持訓練、移乗訓練、マッサージ、関節可動域訓練、車椅子散歩等）
- ・集団訓練（TV体操・ラジオ体操・リハビリ体操）
- ・担当者会議への出席
- ・委員会への出席、各行事、倶楽部活動への参加
- ・車椅子の確認等
- ・食事介助

月別訓練実施延人数

4月（個別訓練 150名、集団訓練 165名）	5月（個別訓練 146名、集団訓練 168名）
6月（個別訓練 143名、集団訓練 194名）	7月（個別訓練 150名、集団訓練 161名）
8月（個別訓練 139名、集団訓練 176名）	9月（個別訓練 133名、集団訓練 179名）
10月（個別訓練 162名、集団訓練 194名）	11月（個別訓練 144名、集団訓練 171名）
12月（個別訓練 143名、集団訓練 202名）	1月（個別訓練 139名、集団訓練 187名）
2月（個別訓練 127名、集団訓練 193名）	3月（個別訓練 137名、集団訓練 200名）

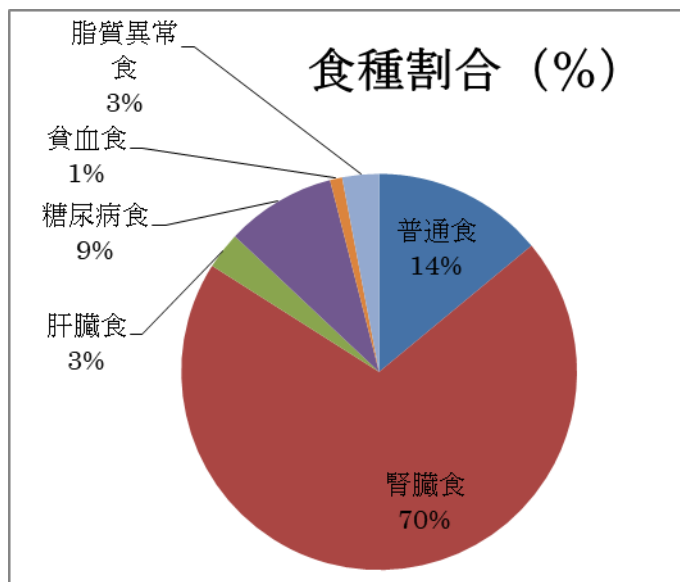
- ・今後は、健康倶楽部においての、フリーダムを使用した体操や歌を通じて、更に喜んでいただけるように取り組んでいきたいと考えています。

栄養業務

栄養ケアマネジメントを実施しました。施設ケアプランに基づき、栄養計画書を作成し、定期的に評価、状態の変化に合わせて見直しを行いました。また今年度は給食委託業者の変更をしました。給食業務がスムーズに行われ、毎食、安全でおいしいお食事を提供できるように、日々技術向上の努力を行っております。引き続き、おいしく楽しく気持ちよく、食事ができる工夫をしていきます。

1、食種 (R2.3.15 現在)

食種	食数 (人)	割合 (%)
普通食	10	14
腎臓食	49	70
肝臓食	2	3
糖尿病食	6	9
胃潰瘍食	0	0
貧血食	1	1
脂質異常食	2	3
痛風食	0	0
脾臓食	0	0
合計	70	100



2、食形態 (R2.3.15 現在)

	形態	食数 (人)	割合 (%)
主食	米飯	10	14
	軟飯	16	23
	全粥	35	50
	ソフト粥	8	12
	パン	1	1
	合計	70	100

	形態	食数 (人)	割合 (%)
副食	常菜	29	41
	やわらか	31	45
	ソフト	8	11
	ミキサー	2	3
	合計	70	100

※その他、個別対応食、ハーフ食、ターミナル食、禁止食、夜食など入居者様個人の状況に合わせて提供

3、栄養給与目標量と栄養給与量 (平成 31 年度)

	エネルギー	たんぱく質	脂質エネルギー比	カルシウム	鉄	ビタミン A	ビタミン B1	ビタミン B2	ビタミン C	食塩相当量	食物繊維総量
	k g	g	%	m g	m g	μ g	m g	m g	m g	g	g
男	1550	65	20~25	700	7	800	1.2	1.3	100	8.0	19
女	1400	60	20~25	650	6	650	0.9	1.1	100	7.0	17

栄養給与目標量 (H31 年度)

栄養給与量 (R1.7~R1.12)

エネルギー	たんぱく質	脂質エネルギー比	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食塩相当量	食物繊維総量
k g	g	%	m g	m g	μ g	m g	m g	m g	g	g
1264	51.8	22.2	602	7.4	608	1.10	1.01	37	7.3	10.4

4、行事食

4月	2日	全ユニット	開設記念日お祝い膳
5月	1日	全ユニット	おやつ こどもの日こいのぼりどら焼き
	16日	全ユニット	かつおのたたきを提供
6月	11日	デイサービス	デイサービス開設記念日お祝い膳
7月	4日	全ユニット	七夕そうめん献立
	26日	全ユニット	土用の丑の日献立
8月	26. 28. 9/4	特養、ショート、デイ	流しそうめん
9月	8日	全ユニット	敬老会お祝い膳
	10日	デイサービス	デイサービス敬老会
	20日	全ユニット	おやつ おはぎ提供
	17日	全ユニット	秋の味覚献立
	28日	全ユニット	秋の味覚献立
10月	15日	全ユニット	秋の味覚献立
11月	29日	全ユニット	秋の味覚献立
12月	12日	デイサービス	にぎり寿司実演、提供
	12日	全ユニット	にぎり寿司提供
	24日	全ユニット	クリスマス献立
	31日	全ユニット	年越しそば
1月	1. 2日	全ユニット	おせち料理、ブランチ
	7日	全ユニット	七草粥
2月	3日	全ユニット	恵方巻き
	14日	全ユニット	おやつ バレンタインのお菓子
3月	3日	全ユニット	ひなまつり献立
	6日	全ユニット	春のお楽しみ献立
	19日	全ユニット	おやつ ぼたもち提供
	26日	全ユニット	開設記念日お祝い膳

季節に合った献立にし、食事が楽しみになるようにしました。また料理の温度、彩り、盛り付けにも注意し、よりおいしく食べていただけるように心がけました。入居者様お一人お一人に合わせたお食事内容になるように努力しました。

行事食の他に、各ユニットごとに企画された調理・おやつレクリエーションの材料の準備、参加をしました。



4月3日 開設記念日



4月11日 春のお好み献立



4月24日 春のお好み献立



5月1日 令和お祝い献立



5月16日 鯉のたたき献立



6月11日 デイ開設記念日



9月8日 敬老会お祝い膳



9月10日デイ敬老会お祝い膳



12月12日 にぎり寿司大皿



12月12日 にぎり寿司



12月24日 クリスマス献立



12月31日 年越しそば



介護業務

菜の花開設9年目を終えました。介護業界全般を覆う人材不足問題は昨年度同様、深刻な問題でもあります。介護職員の流出を抑え（出口の手当）、新たな人材に選ばれる施設（入口の魅力）となる介護のマネジメント力も問われてきております。人材確保が難しい今だからこそ、目先にとらわれず先を見据えた組織作りと人材育成の重要性を日々感じた1年でもありました。『介護職は戦場の兵士であり、ケアという戦場で倒れるのがいつも介護職である』そのような組織に陥らず、『介護職員が輝きを保ち続ける職場』＝『高齢者の心安らぐ生活』＝『魅力ある職場』になれるよう職員一同邁進していきます。

1、教育委員会

昨年度より「人財育成」＝安定した施設経営、その為には人材教育をどのように行なっていくかが一番重要な課題であると考え、各ユニットリーダーが務めていた委員から実習指導者研修、アソシエーター研修、キャリアパス研修など教育に携わる研修を受講した職員を中心とした委員会活動を試みましたが、予定していた活動が遂行困難な状態でした。本来であれば新人研修をはじめ必要とされる内部研修（事故・身体拘束・看取り・感染褥瘡等）も担当委員会と内容協議のもと開催が望ましいのですが、実情は担当委員会へ一任でした。活動が停滞した原因を明らかにし、『職員教育』＝『職員の意識の統一』＝『菜の花のケアの特色』＝『菜の花の介護サービス品質維持』の根本を担う委員会である事を再認識し、活動の足掛かりにしています。

2、摂食委員会

平成28年度に続き2回目の試みとなる夜食・ブランチを開催いたしました。（期間：平成31年12月31日～平成32年1月2日）大皿を使用したビュッフェスタイル、ひと手間加えたオリジナルメニュー開発、アメリカン方式ワンプレートでのお食事など各ユニット様々な工夫がみられました。職員の創意工夫が見られたと同時に、盛り付けや配膳、食器洗い等を率先して手伝ってくださる、同じテーブルの方にお食事をとり分けてくださるなど入居者様の『きらりホット』の一幕をたくさん感じ取る事の出来た催しでした。その反面提供される食事が通常と異なっていたため入居者様おひとりおひとりの口腔機能問題に直面しました。通常とは異なる食事だからこそ、見逃しやすく、気づきにくい口腔・嚥下機能の低下を察知することもできました。日本歯科医師会が「人は口から老いる」と発信されているようにオーラルフレイルの兆候をいかに把握し、ケアに繋げ、共有していくことが、目の高齢者の社会性・精神性の維持に繋がっていくと感じました。

3、入浴・排泄委員会

『オムツの適正な活用方法とその方に合った排泄支援』という目的のもと今年度は活動を行いました。適正な活用方法の検討に当たり、各階のオムツ在庫を確認、デットストックオムツの見直しを行ないました。委員会内でデットストックオムツになる原因を検討したところ、『選択基準が分からないのではないか？』『種類が多彩に有るため混乱するのでは』といった声がかけられました。声を基にメーカーに協力を依頼、内部研修を開催いたしました。『選択基準』については身体のどこを基準にオムツを選択するか、実際にオムツを着用、個々の体型とオムツサイズの適正使用を学びました。『多彩な種類』に関しては4種類使用していたテープ式オムツを伸縮タイプオムツ（Sサイズ、Mサイズ）の2種類へ切りかえを行ないました。またその方に合った排泄支援として入居者様の排泄状況を再確認しました。

① 昼夜共にオムツ対応 (尿意便意無)	② 失禁も有るがトイレに座れば排泄可能 (言語での尿便意訴え)	③ 日中はトイレ使用 夜間のみパット交換 (尿便意有)	④ 昼夜共にトイレ使用 (尿便意有)
------------------------	------------------------------------	-----------------------------------	-----------------------

	なし)		
17名	17名	17名	20名

なかでも②項目:失禁も有るがトイレに座れば排泄可能な17名のケアに重点を置き見直しを計りました。17名の方大半が認知症であり、「言語での排泄意志の発動がない」その為「食事⇒口腔⇒排泄」といった職員主体の業務の流れが「言語以外での排泄意志の発動」の見落としになっているのではないかと意見があげられました。その方にあった排泄支援の取り組みを行う上で一連の業務の流れを解体する事と同時に「言語以外での排泄意志の発動」は個々に異なるためより深い「気づきと観察」が必要になってきます。今年度は成果を上げることは適いありませんでしたが、次年度も引き続き取り組んでいきたいと考えております。

4、感染症対策委員会

平成31年度のインフルエンザ発症者は『ゼロ』でしたが2月から新型コロナウイルスが猛威を振るっており施設内での注意喚起を呼び掛けています。職員は抵抗力があるため(感染しても発症しない)不顕性感染状態となっており意識せず菌の排出を行っている場合があるため日頃の手洗い、マスク着用等を厳守など標準予防策に努めていきます。昨年度より褥瘡ケアマネジメントへの取り組みを行なっています。褥瘡委員が褥瘡スケールに則り観察を実施、看護職員、栄養士、介護職員とともに一人一人のご入居者様の拘縮・姿勢・寝姿・食事量・排泄状態などを検討、評価を実施しております。今年度ステージⅢ、ステージⅣの深達度の方が2名おりました。必要に応じてケアの見直しや医療的処置を図り、研修を開催いたしましたが改善には至りませんでした。今回のケースを通じ、褥瘡発生を誘発する「全身的」「皮膚」「社会的」の3つの原因と「体位変換」「栄養管理」「清潔」「摩擦除去」「体圧分散用具活用」の5つの予防を知識として習得する必要性を強く感じました。

5、身体拘束委員会

身体拘束に対する施設の指針を周知、身体拘束ゼロを実践しています。平成29年度に菜の花で行ったスピーチロックに向けての取り組みを平成30年静岡県福祉研究大会で発表いたしました。研究発表をきっかけに静岡県介護福祉士会より依頼を頂き、令和元年6月に志太・榛原地域の福祉施設・事業者職員を対象に研修を開催いたしました。参加者は30名ほどでしたが、スピーチロックに対する菜の花の取り組みや今それぞれの施設が抱えている課題について活発な意見交換の場を設ける事が出来ました。

内部研修では和歌山県の特別養護老人ホームでおこった実際の虐待映像を基にグループワークを実施致しました。目を覆い、耳を塞ぎたくなるような場面もありましたが、『何故なぜ』とひとつひとつ掘り下げて考える事で身体拘束やスピーチロックが尊厳を侵害する行為に該当する理由を職員皆で共有する事が出来ました。身体拘束やスピーチロックは職員の『感覚鈍麻』が要因の一つでもあります。『言葉』は『心』であり、『コミュニケーション技術』として『言葉』を扱う介護職員として『感覚鈍麻』に陥らないよう常に自己覚知に努め今後も身体拘束ゼロの取り組みを推進していきます。

6、事故対策委員会

平成30年度の事故総数165件(内訳転落・転倒94件、剥離・出血36件、誤薬9件、その他23件)令和元年度事故総数118件(内訳転落・転倒67件、剥離・出血9件、誤薬3件、その他46件)と前年と比較し事故発生は減少傾向となりました。(※転落・転倒事故が原因で出血や打撲を併発した際は事故内容に転落転倒と出血の2か所にカウントされるため総数と内訳合計に差異が生じます。)特筆すべき点のひとつとして前年度より1/3まで減少した誤薬事故が挙げられます。誤薬事故の発生減少は職員一人一人が服薬介助に対する意識を高くもちケアに携わった結果ととらえています。誤薬事故はヒューマンエラーであることを念頭に誤薬ゼロを目標にケアに取り組んでいきたいと考えています。

また令和元年度転落・転倒・その他(椅子などからの滑り落ち)について同一の入居者様

による繰り返しの事故報告が見られています。(S様14件、O様12件、I様9件等) 要因分析を実施する中で、睡眠・排泄・食事・身体状況・服薬・環境などその方を取りまく生活を多方面から検討していますが根本原因判明には至っておりません。繰り返される事故についてはRCA分析を行うなど要因分析の方法についても検討していきます。

7. 看取り委員会

令和元年度退居された方は30名、逝去による退居は22名でした。(内訳菜の花開設初期からの入居者様4名、菜の花に入居されてから1年未満で逝去されている方が9名、2年以上5年未満の方8名、病死1名) 医療機関への転院等が8名でした。開設当初から菜の花では看取りケアに取り組んで来ております。ご入居されてから最期の時を迎えるまでお一人お一人の入居者様に真摯に向きあってまいりました。看取りにはそれぞれ『軌道』があり、その『軌道』の『傾き』も千差万別です。誤嚥や転倒、拘縮といった『窪み』が今まで緩やかだった『傾き』を『急激な傾き』に変化させてしまうと学び取ることが出来てきました。『お食事が召しあがれなくなった』から看取りケアでは無く、今日の前の高齢者がこの『窪み』に嵌ったら全身状態は一変してしまうかもと、看取りになってしまいう要因を推測しいかに『窪み』に対し留意したケアを提供、他職種で共有することが必要であるかが今後の課題として挙げられています。また平成30年度同様、御家族様の希望で医療機関へ転院されるかたも多くみられました。転院理由としては、夜間吸引困難が挙げられています。夜間吸引に対応できるよう令和元年度より喀痰吸引研修に参加、「痰の吸引」「経管栄養」の知識と技術を修得し、これから求められであろう高齢者施設に向けての人材育成を開始致しました。次年度も引き続き喀痰吸引研修に参加予定です。

8. 防災委員会

今年度より防災委員会を開始しました。平成31年10月に襲来した超大型台風19号に備え、全職員を対象とした『非常電源取扱い』研修、防災備品整備などの事前準備を行い台風19号襲来時菜の花の被害はありませんでしたが、隣接した他施設では床上浸水の被害がありました。台風という予測可能な自然災害ではありましたが、限られた職員人数でどのように『命を守る行動』を行えばよいのが、職員からの不安・疑問の声が多々挙がりました。職員の不安と疑問を明らかにすべく、アンケート調査を実施、調査結果を基に『夜勤時震度6の災害発生。限られた人員の中何をすべきか』という想定のもと研修を開催いたしました。非常における通信手段の確保、情報の共有化と可視化、指示伝達系統・運営体制の再構築など災害発生直後、3時間後、6時間後、1日後など時間経過に伴い必要とされる事柄を洗い出し、話し合いを行いました。前述いたしました台風は予測可能な災害のためある程度の『防災』は対応できますが、地震や津波は予測不可能な災害のため、職員の日頃からの研鑽や施設の取組みが災害発生後の『減災』に結び付いていきます。災害発生直後を想定した避難訓練のみならず、次年度からは発災から〇〇後を想定した防災訓練の取組みも実施していきたいと考えています。

9. クラブ活動など

書道クラブ：第2、第4水曜日開催。若い頃に慣れ親しんだ筆を手にとられ、季節ごとの文字をしたためています。先生からいただく花丸や時に手直しも次回への励みに繋がっており参加されたご入居者様にも熱が入っています。

華道クラブ：第3水曜健康クラブ日開催。季節の花々に触れ、口々に「きれいね」と喜んで下さいます。麻痺がある方も参加しやすく、完成した作品をホールや居室に飾る事で、他のご入居者様や御家族様との楽しい会話に花を添えています。

手芸クラブ：第3金曜日開催。根付などを作成しました。作品を作る過程だけではなく、完成した作品を使う事で新たな喜びにつなげることが出来ました。

絵手紙クラブ：第4金曜日開催。季節の風物詩を絵と言葉で表しメッセージを記しました。絵を描くに留まらず時には折り紙やちぎり絵を用いて素敵な作品が出来上がりました。

音楽クラブ：職員のフルート演奏やギター演奏をユニットで楽しみました。歌を唄う事で昔を思い出し気持ちの良いひと時を過ごせました。生のフルート演奏が聴ける贅沢なクラブです。

健康クラブ：機能訓練士が中心となり活動しています。フリーダムから流れる懐メロと映像にあわせ皆さん一生懸命身体を動かされています。

囲碁クラブ：碁盤を挟んで棋士がにらみ合い、白熱した一局を繰り広げています。



12月11・25日 書道倶楽部



12月25日 絵手紙倶楽部



12月20日 烏帽子ユニットお誕生会 焼き立てワッフルが皆さんに大好評！楽しいお誕生会になりました

絵手紙倶楽部 3月22日

可愛らしい春の花を
愉しむ笑顔が、素敵です。

華道倶楽部 3月18日



書道倶楽部 3月13日

「はる」ですね。烏帽子山ではうぐいすや雲雀が春を告げています。
お名前もスバリ「はる」さん、この中にいらっしゃいますよ！



平成31年度実施年間行事

全体行事

月日	内容	
3月28日～4月8日	お花見ドライブ	各ユニット
7月1日～7月7日	七夕	各フロア
8月26日～9月4日	流しそうめん	各ユニット
9月8日	菜の花敬老会 お食事会	
9月22日	菜の花祭り (バザー・屋台・ゲーム)	
4月27日～5月10日	作品展	



ボランティア

1. 日常生活支援と趣味活動支援ボランティア

	開催日	内容	主催者	来所人数
1	4月17日	歌、合唱	乙女椿	9名
2	5月15日	ギターバンド	東川根ギター愛好会	7名
3	5月27日	尺八、舞踊	FU～風	4名
4	6月18日	日本舞踊、歌、 フラダンス	ブルースカイ	8名
5	6月19日	フォルクローレ演奏	グルーポカーニャ	1名
6	8月7日	読み聞かせ、歌	とっつこうくっつこう	8名
7	8月21日	尺八、舞踊	FU～風	4名
8	8月23日	トランペットギター演奏	島田高校吹奏楽部	2名
9	8月29日	お茶提供	(株)さんわ	1名
10	9月6日	フルート、ピアノ演奏	ティラミス	2名
11	9月22日	吹奏楽(菜の花まつり)	島田高校吹奏楽部	30名
12	10月22日	プロパン演奏会	プロパンレディース	4名
13	11月6日	読み聞かせ、歌	とっつこうくっつこう	8名
14	11月13日	ギターバンド	東川根ギター愛好会	7名
15	12月9日	フルート、ピアノ演奏	ティラミス	2名
16	12月12日	尺八、舞踊	FU～風	4名
17	12月18日	歌、合唱	乙女椿	9名
18	2月5日	読み聞かせ、歌	とっつこうくっつこう	8名





ボランティア 乙女椿 4月17日

懐かしい歌に、リズムに乗って手拍子をしたり、乙女椿の方々と一緒になって歌を歌いました。フィナーレの「手のひらを太陽に」では、お手本の振り付けを見ながら踊り、楽しいひとときを過ごしました。



**10月22日
ボランティア フロバンレティース**

フロバングスのポンペを改造した楽器、「フロバノータ」で演奏する日本で唯一のフロバノータ楽団、フロバンレティースが来てくれました。

フロバノータとは中古のフロバングスポンペを利用して、切り込みを入れた楽器だそうです。よく響く美しい音色にうっとりしてしまいます。



ボランティア ティラミス

美しいピアノとフルートの音色にうっとりしているうちに、だんだんワクワク一緒に歌いたくなる曲が始まります。題名は出ていなくても自然に歌詞が浮かびます。



6月18日 ボランティア フルースカイ・竹生会

フラダンス・日本舞踊、踊りも衣装も美しく、歌も素敵でした！途中、コミカルなおかめさんも出てきて、面白い一幕もあり飽きることがありません。



6月19日 ボランティア グルーポカーニャ

普段見ることのできない珍しい楽器の音色を間近で聞くことができました。素敵な演奏でした。



実習生受け入れ

学校名	日付	延べ人数
藤枝中学校	5月8日～10日	9名
青島北中学校	4月23日～25日	6名
静岡大学	11月11日～15日	1名
警察学校	10月10・16・17日	11名
介護研修	7月22・24日	8名



ショートステイ菜の花 事業報告

定員：20名 特別養護老人ホーム菜の花併設

ショートステイ菜の花は9年目に突入し、毎月2～3名程の新規利用者と契約をしました。平成31年度の年間稼働率は、前年度を8.7ポイント下回り41.7%となり、52%の目標を達成することができませんでした。

カラオケ、おやつ作り、フルーツ生演奏会等のレクリエーション、地元で毎年恒例の藤枝駅前イルミネーション見学ドライブ等、外出にも力をいれショートステイのユニット内も日々賑わいを見せております。

一年を通して、定期利用者の特別養護老人ホーム等の施設入所が相次いだり長期入院されたりし、前年度の年間稼働率を下回りました。また、年明け2月後半より新型コロナウイルスによる感染拡大により、サービスの利用を躊躇する利用者様・ご家族によるキャンセルが相次いだことも理由の一つに挙げられます。施設として「感染しない・させない」を合言葉に少し厳しいと思われる程の制限を設け、ショートステイ菜の花に関わる全ての方の安心と安全な環境づくりを最優先しています。現在も、全国に緊急事態宣言が発令されている渦中ではありますが、サービスを継続できる状況を保っています。

令和2年度も年間稼働率52%以上を目標に掲げ営業活動を図っていきます。そして利用者一人一人が「ショートステイを利用してよかった」「菜の花にいれば安心だ」と思っただけのような明るいユニット作りを行なっていきます。

利用状況

実人員	延人数	1日あたり人員	1人あたり日数	稼働率
413人	3045人	8.34人	7.37日	41.7%

利用者数 実人員

月	男	女	計
4	8	3	11
5	7	25	32
6	5	31	36
7	4	31	35
8	4	32	36
9	3	31	34
10	5	34	39
11	8	38	46
12	5	30	35
1	7	31	38
2	10	24	34
3	10	27	37
計	76	337	413

利用者延べ人数

月	男	女	計
4	66	236	302
5	53	178	231
6	24	239	263
7	13	173	186
8	17	274	291
9	14	201	215
10	27	244	271
11	30	230	260
12	59	212	271
1	40	206	246
2	67	202	269
3	62	178	240
計	472	2573	3045



デイサービス菜の花 事業報告

定員 : (月)~(金)25名 (土)20名
 特別養護老人ホーム菜の花併設

営業日 : 月曜日から土曜日 (年末年始を除く)

営業時間 : 午前9時30分~午後4時45分までの7時間15分

デイサービス菜の花では平成27年8月より個別機能訓練を開始いたしました。筋力維持向上を目指す利用者様大変喜ばれております。毎日の集団体操も3種類以上行ない、機能訓練に力を入れました。また、毎月さまざまな行事を実施し利用者様の心身の活性化を図りました。調理・おやつレクは男性利用者様にも新しい刺激となり人気のレクとなっています。その他にも年に2回のミニ運動会、外出行事、季節行事等レク活動の充実や、小学生との世代間交流、大学生ボランティア受け入れ等で社会性や生きがいを持てるような取組みを行ないました。

既存利用者様の増回や市内居宅支援事業所からのご紹介があり、利用率は昨年度(61.5%)から今年度は(62.7%)に上昇しました。入所による利用終了や感染予防による自粛の動き等があり、微増となっています。

利用人数

	利用人数 (人)	延人数 (人)	営業日数 (日)	平均利用 (人)	利用率 (%)
4月	42	394	26	15.2	62.7
5月	42	397	27	14.7	60.3
6月	36	366	25	14.6	58.8
7月	39	415	27	15.4	63.6
8月	39	399	27	14.8	61.4
9月	41	396	25	15.9	66.4
10月	42	408	26	15.7	64.1
11月	39	373	26	14.3	59.7
12月	41	399	26	15.3	63.2
1月	38	374	24	15.6	64.5
2月	42	399	25	16.0	66.5
3月	46	381	26	14.7	60.9
計	487	4701	310	15.2	62.7



調理レク



おやつレク



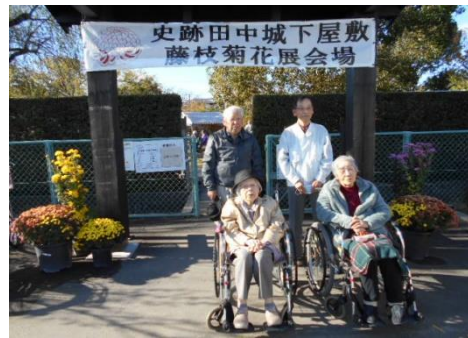
制作「折り紙でうちわを作ろう」



敬老会



運動会



外出レク「菊花展」



寿司バイキング



カラオケ紅白歌合戦



季節行事「豆まき」

居宅介護支援事業所菜の花 事業報告

事業の概要

要介護者が自宅での生活を続けられるように居宅サービス計画の作成等を行います。
2人体制で運営しております。

居宅サービス計画作成数の推移

	非該当	要支援		要介護					計
		1	2	1	2	3	4	5	
4月	0	11	11	14	20	4	6	1	67
5月	0	11	11	14	19	4	6	1	66
6月	0	9	12	16	18	4	8	1	68
7月	1	10	13	15	19	5	10	1	74
8月	2	11	13	17	18	5	8	1	75
9月	4	13	15	17	18	6	8	1	82
10月	4	13	13	18	15	10	5	1	79
11月	5	14	14	19	14	12	4	1	88
12月	5	14	13	19	13	11	4	1	80
1月	4	16	12	21	12	9	5	1	80
2月	4	15	13	20	11	9	6	1	79
3月	4	14	13	19	11	11	6	2	80

医務計画（健康サポートセンター報告）

< 実施可能な医療行為 >

① 褥瘡処置	01名
② 浣腸摘便	02名
③ 人工肛門	05名
④ インスリン注射	00名
⑤ 簡単な創処置	02名
⑥ 在宅酸素療法	00名
⑦ 胃瘻経管	00名
⑧ 薬剤管理	70名
⑨ バルーン管理	04名

< その他の医療行為 >

1 感染症対策	
① インフルエンザ	00名
② 疥癬	00名
③ 「MRSA」	00名
④ 結核	00名

< お亡くなりになった方 >

1 「施設」で亡くなった方	22名
① 「看取り」で亡くなった方	18名
② その他の方	04名
2 「病院」で亡くなった方	08名

< 医務会議（健康サポートセンター会議） >

毎月1回

< 急変時の対応 >

- 1 救急車にて救急搬送先
 - ① 藤枝市立総合病院・・・13名
 - ② 平成記念病院・・・・・・00名

< 健康診断 >

- 1 入所者定期健康診査
 - ① 実施期間 平成31年10月04日～12月21日
 - ② 実施機関 ほしのクリニック
 - ③ 実施人数 70名
 - ④ 実施内容 胸部レントゲン・心電図・血液検査・尿検査
 - ⑤ 費用 施設負担（検査内容により家族負担あり）

< 予防接種 >

- 1 インフルエンザ予防接種
 - ① 実施期間 令和1年11月05日～11月28日
 - ② 実施医師 嘱託医 星野正明先生
 - ③ 実施場所 菜の花各ユニット
 - ④ 実施人数 67名

消防・防災 事業報告

1 消火・通報・避難・救護・総合訓練

令和1年7月1日 10:00~11:00

参加者 40名(職員、入居者、利用者、消防設備業者)

訓練内容

地震訓練、通報訓練、消火訓練、避難訓練を連動して実施(日中体制時)。
避難終了後、職員・一部のご利用者で水消火器を使用して初期消火訓練を実施し、
消防設備の取扱いについては、点検業者・防火管理者からの説明を受けました。

2 「社会福祉施設防災の日」総合防災訓練

令和1年11月1日 10:00~11:00

参加者 36名(職員、入居者、利用者、消防設備業者)

訓練内容

地震訓練、通報訓練、消火訓練、避難訓練を連動して実施(夜間体制時)。
避難終了後、職員・一部のご利用者で水消火器を使用して初期消火訓練を実施し、
消防設備の取扱いについては、点検業者・防火管理者から説明を受けました。
台風19号による水害対策にも予想想定し話し合いを行いました。

令和1年9月24日…全設備異常なし
令和1年…コロナウイルス感染により延期する。



寄付・寄贈 報告

年月日	寄贈者	品目・数量
平成 31 年 10 月 8 日	藤枝市茶手揉み保存会	手揉み茶



平成31年度 苦情対応報告

令和2年3月31日
苦情解決管理責任者 川口節子

菜の花は今年で開設9年目を迎える事ができました。

今期は、皆様から頂戴しましたご意見が少なく、心配しております。苦情は多い程、職員にとりましては、気付きの機会、支援の振り返り、など、成長の機会になります。苦情は職員の「宝」としてありがたく頂戴しております。是非ともお気付きの点、ご意見をお寄せ戴けますよう宜しくお願い申し上げます。

今年戴いた苦情は下記の4件でございます。

記

- 1 期間 平成31年4月1～R2年3月31日
- 2 件数 04件
- 3 事業所内訳
 - ・デイサービス菜の花 2件
 - ・ショートステイ菜の花 1件
 - ・特別養護老人ホーム菜の花 1件

平成31年度 苦情・対応 一覧

受付年月日	事業区分	苦情内容	今後の対応方法
R1.5.17	ショート	施設の車がバイクを抜いて危険な走り方をしていた	無理な追い越しは事故に繋がる法令遵守を指導した。
R1.6.11	デイ	迎えの時間が遅かった	約束の時間に間に合わない場合は事務所に連絡。事務から利用者宅に遅くなる旨を連絡するようにした。
R1.7.11	デイ	食事が冷めていた	デイは温冷配膳車で無い為、配膳の順番を特養より早めることにした。又、冷めた場合は温めて提供するようにした。
R1.10.25	特養	家族からの連絡事項が職員間で伝わらない連携不足	連絡を受けた職員は責任を持ってメモに内容を記入し、相手に伝え、伝わったかの確認をしていく。

内部研修報告 一覧

開催年月日	研修名	主催者	会場	参加者職種	参加者氏名	研修内容
平成 31 年 4 月 2 日	新人研修	川口施設長	地域交流室	介護職 (新入社員)	池谷浩徳、高橋ことみ、林優斗	組織の理念、看護・介護の役割を知る
平成 31 年 4 月 1 日	新人研修	西井戸	地域交流室	介護職 (新入社員)	池谷浩徳、高橋ことみ、林優斗	就業規則・組織の概要、フロアー構造等
平成 31 年 4 月 2 日	新人研修	中村瑞穂	地域交流室	介護職 (新入社員)	池谷浩徳、高橋ことみ、林優斗	介護保険制度の理解
平成 31 年 4 月 1 日	新人研修	堀田	地域交流室	介護職 (新入社員)	池谷浩徳、高橋ことみ、林優斗	基本介護技術、フロアーの業務の流れ
平成 31 年 4 月 1 日	新人研修	大関機能訓練	地域交流室	介護職 (新入社員)	池谷浩徳、高橋ことみ、林優斗	トランスファー、ボディメカニクスについて
平成 31 年 4 月 2 日	新人研修	森田看護師	地域交流室	介護職 (新入社員)	池谷浩徳、高橋ことみ、林優斗	感染症について学ぶ
平成 31 年 4 月 2 日	新人研修	奥津栄養士	地域交流室	介護職 (新入社員)	池谷浩徳、高橋ことみ、林優斗	食事介助、高齢者の食事について
平成 31 年 4 月 3 日	新人研修	齋藤ケアマネ	地域交流室	介護職 (新入社員)	池谷浩徳、高橋ことみ、林優斗	施設ケアプランを学ぶ

開催年月日	研修名	主催者	会場	参加者職種	参加者氏名	研修内容
平成 31 年 4 月 3 日	新人研修	佐藤(葉)	地域交流室	介護職 (新入社員)	池谷浩徳、高橋ことみ、林優斗	リスク管理、高齢者の特性を知る、認知症について
令和元年 5 月 10 日	身体拘束廃止委員会「接遇」	佐藤(葉)	地域交流室	介護職	望月由、青島、山内、早川、松本、塚本、高橋、山下、小池、沢本、高岡、池谷、米谷堀田	虐待映像を観てグループディスカッションを行う
令和元年 5 月 15 日	内服薬の取り扱い	川口施設長	地域交流室	介護、看護	佐藤(葉)、早川、小林、杉本、佐々木、藤平、山下、坂上、松永	薬剤の種類、薬剤の取扱い、与薬法、事故防止
令和元年 5 月 20 日	看取りケア研修	川口施設長	地域交流室	全職員	高橋ことみ、山内凌、斎藤正子、小林健斗、坂上浩次、仁木あすか、佐藤葉子、望月由紀子	菜の花の看取りの現状、看取りとは
令和元年 6 月 11 日	中途採用者研修	川口施設長	地域交流室	中途看護、 介護職員	緒方ひろ子、水野友紀、仁木あすか、片野明子、川村紗結里、梶山ひさ子	理念、介護職の役割、菜の花誓詞
令和元年 6 月 17 日	事故対策・緊急時の対応	望月由紀子	地域交流室	介護職員	坂上、齋藤ケアマネ、小林健斗、池谷浩徳、渡辺倫美、川村紗結里、斎藤隆、山内凌、酒井美紀、鈴木知子	菜の花の安全管理システム、事故報告・ヒヤリの流れ、リスクマネジメント、、苦情対応、、感染予防、AEDの取扱い
令和元年 6 月 22 日	接遇についての取り組み	佐藤葉子	地域交流室	全職員	堀田隆弘、米谷枝里子、山下哲矢、佐藤葉子	身体拘束（スピーチロック）に対する姿勢を「接遇」という視点から鑑みる。

開催年月日	研修名	主催者	会場	参加者職種	参加者氏名	研修内容
令和元年8月15日	食中毒について	奥津和予子	4階ステーション	介護職員	林優斗、池谷浩徳	食中毒とは、食中毒の年次変化、食中毒菌の種類、食中毒菌の種類、食中毒菌発育の三原則、食中毒予防のポイント、手洗いの仕方
令和元年8月19日	食中毒について	奥津和予子	4階ステーション	介護職員	高橋ことみ、水野友紀、坂上浩次、八木京子	食中毒とは、食中毒の年次変化、食中毒菌の種類、食中毒菌の種類、食中毒菌発育の三原則、食中毒予防のポイント、手洗いの仕方
令和元年9月30日	残食調査について	奥津和予子	1階厨房前	介護サポート	安藤好子、池谷浩徳、井戸端常男、贅猪三郎	残食調査の目的、実施方法、
令和元年10月10日	防災停電時に非常電源の取り方	贅猪三郎	1階ボイラー室前	全職員	飛驒敏一、望月俊彦、岸端毅、野上初美、早川有希子	非常電源の取り方について
令和元年10月11日	防災停電時に非常電源の取り方	贅猪三郎	1階ボイラー室前	全職員	小林健斗、山内凌、塚本正好	非常電源の取り方について
令和元年10月11日	防災停電時に非常電源の取り方	贅猪三郎	1階ボイラー室前	全職員	中村端穂、仁木あすか、藤原真利子、小池宗大	非常電源の取り方について
令和元年11月1日	防災訓練	光星防災	地域交流室	全職員	堀内課長、中村端穂、佐藤葉子、仁木あすか、高橋ことみ、高柳裕乃、斎藤正子、堀田隆弘	防災訓練、水害対策について
令和元年11月12日	ノロウイルスの感染予防対策	森田佳子	地域交流室	全職員	奥津管理栄養士、條野看護師、佐藤葉子、川村紗結里、片野明子、高橋ことみ、今野静香、小長谷稜、井戸端常男	ノロウイルスとは、感染予防対策、手洗い励行、ソリューションの使用方法、嘔吐物の処理方法

開催年月日	研修名	主催者	会場	参加者職種	参加者氏名	研修内容
令和元年11月13日	排泄研修オムツの適正使用について	カミ商事田中様	憩ユニット	全職員	山内凌、坂上浩次、米谷枝里子、高橋ことみ、松永香代子、神奴豊子、林優斗、佐藤葉子	効果的なオムツの使用について、オムツ着用の体験研修
令和元年11月20日	ビデオ研修によるリスクアセスメント	望月由紀子	地域交流室	全職員	青島朋輝、坂上浩次、小長谷稜、飯塚麻帆、佐藤葉子、米谷枝里子、山下哲矢、増井好昭、高柳裕乃、望月俊彦、斎藤正子、塚本正好、大関浩道	事故事例を基にリスクの低減を計る
令和2年1月29日	苦情解決制度に関わる巡回支援	静岡県福祉サービス運営適正化委員会	応接室	相談員	小林浩二、藤原真利子、大畑由佳理、坂上京子、堀内課長	過去の苦情等について事前の報告事項の説明

外部研修報告 一覧

開催年月日	研修名	主催者	研修会場	参加者 職種	参加者氏名	内容
平成 31 年 4 月 15 日	社会福祉法人 監事監 査研修会	静岡県社会福祉協 議会	グランシップ 11 階	監事 課長	杉山重人 西井戸靖	監事監査における具体的なチェックポ イント等を学ぶ
令和元年 5 月 10 日	感染症講座		シズウェル	介護職	佐藤葉子	
令和元年 5 月 31 日	静岡県老人福祉施設協 議会定例総会	静岡県老人福祉施 設協議会	静岡音楽会館 7 階	施設長	川口節子	事業報告 講義「働き方改革と人材育成について」
令和元年 5 月 30 日～ 令和元年 6 月 1 日	シニアフィットネスト レーナー	テクノジムジャパ ン	東京都品川区テクノ ジムジャパン本社	デイ看護師	伊藤邦子	中高齢者の運動指導に必要なトレーニ ングプログラムの習得
令和元年 6 月 13 日	2019 年度看護管理者総 会	静岡県管理者会	静岡県男女共同参画 センター	施設長	川口節子	総会および研修会「いきいきと働ける 職場を作る看護マネジメント」
令和元年 6 月 11 日	不在者投票説明会	静岡県	静岡県庁 2 階会議室	事務主任	中村瑞穂	衆議院選挙の不在者投票に関わる説明 会
令和元年 6 月 13 日	認知症介護基礎研修		静岡商工会議所 5 階	介護職	早川有希子	認知症の基本的知識及び現場での実践 について学ぶ
令和元年 7 月 5 日	静岡県老人福祉施設協 議会中部支部総会	静岡県老人福祉施 設協議会	クーポール会館	施設長	川口節子	総会および記念講演「働き方改革につ いて」
令和元年 7 月 9 日	第 37 回 在宅医療部会	志太医師会	志太医師会館講堂	ケアマネ	原崎尚子	在宅生活に関わる情報共有に関する検 討会（残薬確認等）
令和元年 7 月 17 日	食中毒について	静岡県健康福祉部	中部保健所	管理栄養士	奥津和予子	食中毒及び 2021 年 HACCP に基づく 衛生管理について学ぶ
令和元年 8 月 1 日	健康カラオケサポータ ー養成講座	日本音楽健康協会	グランディエールブ ケ TOKAI	デイ相談員	大澤紀世子	音楽健康指導について学ぶ
令和元年 9 月 6 日～ 11 月 3 日（8 日間）	介護職員等の喀痰吸引 等研修	静岡県介護福祉士 会	シズウェル	介護職	鈴木知子	喀痰吸引に関する研修

開催年月日	研修名	主催者	研修会場	参加者職種	参加者氏名	内容
令和元年9月6日	介護リスクマネジメントセミナー	株式会社アイケア	ツインメッセ静岡	介護職	塚本正好	クレーム対応等、介護職員に対するハラスメントから職員を守るための方法
令和元年10月4日	より良い高齢者ケアを考えるセミナー	静岡県健康福祉部	菊川文化会館アエル	施設ケアマネ	斎藤正子	講演「ありのまま、その人らしさ」を支える
令和元年10月11日	平穏に生きる平穏に終わる	静岡県介護福祉士会	藤枝市生涯学習センター	介護職	佐藤葉子	医療と介護の共同作業と自らの意思を尊重した看取りについて学ぶ
令和元年10月17日	静岡県個室ユニット型施設連絡会 第2回研修会	静岡県個室ユニット型施設連絡会	特別養護老人ホーム 灯光園	施設ケアマネ	斎藤正子	施設見学および灯光園における看取りケアについて紹介、グループワーク
令和元年10月23日	安全運転管理者講習会	静岡県公安委員会	瀬戸谷地区交流センター	運転管理者	清水明	安全運転管理者に対する講習会
令和元年11月7日	「承認マネジメント」研修	静岡県老人福祉施設協議会福祉施設協議会	静岡県総合社会福祉会館	介護主任	堀田隆弘 佐藤葉子	承認マネジメントスキルの習得
令和元年11月11日	「介護の日街頭啓発事業」	静岡県老人福祉施設協議会	静岡駅北口地下広場	介護職	塚本正好	啓発グッズの配布、のぼり旗、ゆるキャラを着てPR活動
令和元年12月15日	看護実務者研修	静岡県看護協会	静岡県看護協会	看護師	伏見はつ子	看護職員を対象に、権利擁護に必要な援助を行うための実践的な知識・技術の習得
令和2年1月10日	看護の質向上促進研修	静岡県看護協会	静岡県看護協会	看護師	伏見はつ子	感染予防対策、医療安全対策、地域包括ケア支援における看護職の役割について
令和2年2月14日	静岡県老人福祉施設協議会中部支部総会	静岡県老人福祉施設協議会	クーポール会館	施設長	川口節子	総会及び記念講演「経営を客観視する力～経営数値から戦略を練る～」

事業報告の附属明細書

該当事項ありません

社会福祉法人聖啓会

